

2019年

5月4日(土)  
~5日(日)

東京・JR大井町駅前  
きゅりあん  
イベントホール

平成が終わっても戦後は終わらない

# 語らずに死ねるか!

今年もやります!

## 戦場体験者と会える茶話会

どんな方も大歓迎です。ぜひ一緒に語り合いましょう。体験者の方とお話しできるテーブル席を会場にご用意します。

午前1回、午後2回（各回1時間程）です。



午前 10:30～ 午後（1回目）13:00～  
(2回目) 14:30～

### 来場予定の方

中国戦線	陸軍少年通信兵
フィリピン・ミンダナオ島	特別幹部候補生
フィリピン・ルソン島	日赤看護婦
レイテ島・セブ島	女子通信隊
テニアン	満州野戦重砲・野砲
少年飛行兵	シベリア抑留
隼操縦士	モンゴル抑留
ラバウル偵察員	葛根廟事件
空母・瑞鶴	満州・朝鮮半島引揚げ
重巡洋艦・利根、ソロモン	択捉島・蘂取村
学徒出陣	東京大空襲、各地空襲

どの時間帯にどのお話を聞けるかは4月中旬以降に決定しますのでお問合せください。  
または戦場体験史料館 (<http://www.jvvap.jp>) やツイッター (@JvvapJP) でもお知らせします。

同時開催

## インタビュー映像記録と共に見る茶話会

保存の会が記録した戦場体験の  
インタビュー映像をご紹介します。  
「こんなことが知りたい」という  
リクエストを頂き、参考になりそうな  
映像をその場でスタッフが選んで映します。



両日とも 16:00～

### インタビュー記録上映

中国戦線／陸軍 歩兵
メナド島落下傘降下、サイパン島／海軍 陸戦隊
ビルマ・インパール作戦／陸軍 砲兵(山砲)
沖縄戦／瑞泉学徒隊

2019年 5月4日(土)～5日5日(日)

きゅりあんイベントホール C・D・E (7階)

JR京浜東北線「大井町」駅 JR 中央改札から徒歩1分

(東急大井町線・りんかい線の大井町駅で降りたらJR中央改札口に向かって下さい)

入場  
無料

主催 戦場体験放映保存の会

TEL : 03-3916-2664 (火/木/土日祝)

e-mail : [senjyou@notnet.jp](mailto:senjyou@notnet.jp) 戰場体験史料館HP <http://www.jvvap.jp>

# 茶話会ってなに？



茶話会は、体験者と若い世代が膝を突合せて語り合う、戦争体験の語り継ぎの運動です。ご家庭や地域サークル、介護施設など、だれでも・どこでも気軽に開催できます。「ウチでもやってみたい」という方は保存の会までお気軽にご相談ください。

## 「インタビュー映像記録と共に見る茶話会」でご紹介する体験者の方

### ◆ 故・井ノ口金一郎さん

1920(大正9)年9月14日生まれ  
陸軍 第27師団支那駐屯歩兵1連隊



S一等兵がね、その子の年取った父親が  
よれよれ来るのを、ばつぱつと胸刺した  
の。そしたら路肩から崩れて、田んぼが深田でね、そこへ  
沈んじゃった。そしたらね、執念だね。爺さんが、泥水か  
ぶってね、あぜ道に這い上がって来たの。それでもう一回  
刺した。そしたら子供が暴れて暴れて、暴れますよね。目  
の前でアーナ。どういう思いだったかねえ。

中国・華北、天津など



ビルマ・インパール作戦



### ◆ 故・増茂武三郎さん

1922(大正11)年11月23日生まれ  
陸軍 第33師団山砲兵第33連隊

道路に出ると両脇には白骨、そして腐りかかつた兵隊、腐っている兵隊、或いは動けなくなってる兵隊、色いろですよ。死体は死体を呼ぶんだと思う。  
戦争反対という思いを現実に見せてやるんだったら、あの場面をみせてやったら、もう二度と戦争をしたくないと思う。

ブザーが鳴って扉が開く。ものすごい砲弾音がした。手榴弾を下に投げながら降下。  
降下中は体の自由がきかない。ランゴアン飛行場からも激しい砲火。着地成功。降下地点には空挺対策の竹やりがあり運悪く降下すると田楽刺しになる。

### 戦場体験放映保存の会について

#### ● 戦場体験放映保存の会

2004年12月に設立。アジア太平洋戦争の戦場体験を中心に動画で後世に遺す活動を行っています。  
元兵士・軍属の方々、沖縄や敗戦時の満州など、戦場となつた地域におられた民間人の方々からの聞き取りを行っています。体験者自身が呼びかけの先頭にたち、戦争を知らない世代のボランティアが収録活動にあたる老若一体の活動を展開中。体験記録は「戦場体験史料館・電子版」<<http://www.jvvap.jp>>で順次公開しています。

#### ● 無色・無償・無名

私たちは「無色、無償、無名」を固い原則にしています。  
どんな立場の方も、どんなご意見の方も、ただ戦場体験を語り継ぐ一点だけで手を繋ぎあいます。戦争の極地であった戦場がドラマや将軍の戦記物のみで伝わることを避け、名もなき我々の声を残しておきたいのです。

#### 主催

公益社団法人マスコミ世論研究所内

### 戦場体験放映保存の会

### ◆ 故・宮城巳知子さん

1926(大正15)年4月12日  
瑞泉学徒隊  
(県立首里高等女学校)



「兵隊さん、私も連れて行ってください」と懇願したが、誰も連れて行ってくれない。「自分で自分の始末をしろ」と言わされた時は、どうやって死ねばいいか分からなかった。壕の入り口で大の字で寝て、艦砲射撃で死のうと思った。神様、一発で死ねますようにと寝ていた。

沖縄・第62師団野戦病院

### ◆ 故・生井豊さん

1922(大正11)年1月2日生まれ  
海軍  
横須賀第一特別陸戦隊  
(落下傘兵)



サイパン島  
前進すると敵がいた。とっさに哨壇に入る。敵は避難民に気をとられて気づかず上を通過。前に向かって銃を撃っている。もし見つかったらやられる。緊張。覚悟を決める。敵兵は気づかずに前進。汗がドバツとなる。

### 会場アクセス

きゅりあん(品川区立総合区民会館)  
東京都品川区東大井5-18-1



JR京浜東北線「大井町駅」JR中央改札出口 徒歩1分  
※東急大井町線・りんかい線の大井町駅で降りたら  
JR中央改札口に向かってください

Tel 114-0023 東京都北区滝野川6-82-2

TEL 03-3916-2664 (火木土日祝 10時~17時)

FAX 03-3916-2676

e-mail [senjyou@notnet.jp](mailto:senjyou@notnet.jp)

戦場体験史料館HP <http://www.jvvap.jp>